

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンス基礎		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	2014年より芸能事務所でアイドルや俳優の育成、ダンススタジオ等でダンス講師をしながら、海外でのTV番組メインダンサーでの出演、CM・企業PV出演など、ダンサーとしてアーティスト活動を行う。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ・筋トレ ・JAZZを中心としたベーシック(アイソレーション / リズム / プリエ / ターン) ・コンビネーション・振り付け□ 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスのジャンルや基礎を理解し動ける身体のベースを作る。 ・様々なジャンルの楽曲に合わせたコンビネーション・振り付けを覚え踊れる。 ・動けるだけでなく、身体を使って表現する感性や個性を養う。 ・様々な場面でのステージング、板のつき方を理解する。 □					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ストレッチ、筋トレ、体幹トレーニング、呼吸、基礎体力の向上。□
【前期】 5～8回目	ダンスジャンル理解。JAZZダンスを中心としたベーシック(アイソレーション、リズム、プリエ、ターン)
【前期】 9～12回目	ベーシック強化プリエ、ターン編。フロアコンビネーション習得。
【前期】 13～16回目	習得した技術を使ってインプロヴィゼーション。振り付け強化。
【前期】 17～19回目	JAZZダンスを中心としたベーシック+クロスフロア 振り付け習得 ◆前期テスト・「基礎体カテスト・クロスフロア・振り付け」の達成を確認。
【後期】 20～23回目	ストレッチ、筋トレ、体幹トレーニング、呼吸、基礎体力の向上。□
【後期】 24～27回目	ダンスジャンル理解。JAZZダンスを中心としたベーシック(アイソレーション、リズム、プリエ、ターン)
【後期】 28～31回目	ベーシック強化プリエ、ターン編。フロアコンビネーション習得。
【後期】 32～35回目	習得した技術を使ってインプロヴィゼーション。振り付け強化。
【後期】 36～37回目	JAZZダンスを中心としたベーシック+クロスフロア 振り付け習得 ◆後期テスト・「基礎体カテスト・クロスフロア・振り付け」の達成を確認。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「筋トレ / アイソレーション / リズム / 基本ステップ / 振付」の5項目の到達度、理解度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスの基礎を学ぶとともに、身体能力の向上、身体で表現する楽しさを学んでいきます。 それぞれの知識、技術、経験はどれもステージングに活かされると思います。 より豊かなミュージックライフのお供になる授業をみなさんと創り上げていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ボーカロイド		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ポール・ギルバート、シェーン・ガラース、Allen・Hindsとのセッションも経験。中洲jazzやバルーンフェスタ、イスラデサルサ等イベントにも多数出演。デヴィッド・ボウイなどのアーティスト写真を撮った写真家鋤田正義氏の写真展でのBGMにギターでの参加するなどアート方面での音楽でも活躍。上記の経歴を活かし、職業として求められる職業として求められる「作曲ソフト(Logix Pro X)の操作、作曲と編曲の技術と知識等」の指導を行う。				
授業概要					
ボーカロイドソフトの基本操作、作曲をするにあたって必要な知識を学び作品を作成する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・DTMを通して音楽理論、楽器の特性を理解する。 □ボーカロイドソフトのオペレーションを効率的に運用できるようになる。活舌をよくする、裏声にする、ささやくような歌声にするなど、人間らしい声にするためのさまざまなテクニックを完全公開。 ・習得した技術、知識を使い楽曲を制作技術を身につける。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	「ボーカロイドとは」。ボーカロイドの基礎。
【前期】 5～8回目	起動からボーカロイドに歌わせる/ファイル保存。コントロールパラメータの機能を理解。
【前期】 9～12回目	ボカロソフト/画面構成とツールバー、トラック編集 歌詞と音符を入力してみる。ボカロソフトとDAWとの連携。
【前期】 13～16回目	ボカロソフト/ミキシング・マスタリング機能の理解
【前期】 17～19回目	分析して得たアレンジ法を活かし、曲を作成する。 ■前期試験:ボカロ楽曲の制作の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	「ボーカロイドとは」。ボーカロイドの基礎。
【後期】 24～27回目	起動からボーカロイドに歌わせる/ファイル保存。コントロールパラメータの機能を理解。
【後期】 28～31回目	ボカロソフト/画面構成とツールバー、トラック編集 歌詞と音符を入力してみる。ボカロソフトとDAWとの連携。
【後期】 32～35回目	ボカロソフト/ミキシング・マスタリング機能の理解
【後期】 36～37回目	分析して得たアレンジ法を活かし、曲を作成する。 ■後期試験:ボカロ楽曲の制作の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	イメージした物を表現、制作するために必要な技術、知識を学び、将来クリエイティブな仕事ができるようにします。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	キーボード		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	高校卒業後ソルフェ音楽専門学院に入学し同時に活動していたメタルバンド「ANOTHER STREAM」(アナザーストリーム)にてインディーズデビュー。国内外から様々な評価を得つつ2012年に脱退。2013年よりレコーディングエンジニア・アレンジャーとしてのキャリアを開始し、メジャーアーティストを始め様々なアーティストのレコーディング、編曲などに参加。上記の経歴を活かし、職業として求められる「キーボード等」の指導を行う。				
授業概要					
ドレミの位置や音階など、ピアノに触ったことがなくても基礎の基礎から学んでいきます。コード理論や作曲理論も交えて音楽への理解を深めます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードを通して音感やコード感を身につけ、各自の音楽活動への理解をより深めていきます。 ・簡単なコードを引くことができるようになる。 ・音階やスケールなどを理解し、各自の音楽活動に生かすことができるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【はじめに】ドレミの位置や白鍵・黒鍵の違い、ダイアトニックスケールの定義などを理解しながらキーボードに触れます。
【前期】 5～8回目	【コード理論】コードの成り立ちや仕組みを理解し、実際に演奏します。
【前期】 9～12回目	【作曲理論】作曲におけるコードの扱い方などを、スタンダードの曲を分析しながら理解し、実際に演奏します。
【前期】 13～16回目	【応用】コード名を見てスタンダードの曲を演奏します。上級者は弾き語りにも挑戦します。
【前期】 17～19回目	【応用②】コード名を見て演奏し、メロディを考えてみます。 ■前期試験: 楽器の演奏により「演奏力/コードの理解」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【はじめに】ドレミの位置や白鍵・黒鍵の違い、ダイアトニックスケールの定義などを理解しながらキーボードに触れます。
【後期】 24～27回目	【コード理論】コードの成り立ちや仕組みを理解し、実際に演奏します。
【後期】 28～31回目	【作曲理論】作曲におけるコードの扱い方などを、スタンダードの曲を分析しながら理解し、実際に演奏します。
【後期】 32～35回目	【応用】コード名を見てスタンダードの曲を演奏します。上級者は弾き語りにも挑戦します。
【後期】 36～37回目	【応用②】コード名を見て演奏し、メロディを考えてみます。 ■後期試験: 楽器の演奏により「演奏力/コードの理解」の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「演奏力/コードの理解」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ピアノは、全ての楽器の音域をカバーすることができる万能な楽器です。また、音の高低が一目でわかる楽器でもあります。どの科の生徒でも、キーボードに触れて音階やコードを理解することで自身の活動をより豊かなものにしていきます。キーボードに触れたことがない生徒、ある程度演奏ができる生徒など、それぞれの上達度に合わせた課題や目標を設定し到達していきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ドラム		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<p>・私立恵比寿中学、戸渡 陽太、FREAK、Big horns bee等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン</p> <p>・私立恵比寿中学「アルバム/MUSIC」の楽曲「踊るロクデナン」等、レコーディング時のバックアップミュージシャン</p> <p>上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的な演奏技術、リズムの知識等」の指導を行う。</p>				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・初級から上級まで、様々なビートを体験しながら演奏のレベルアップを目標にする。 ・スティックコントロールの向上を目標に、基礎トレーニングをしてみる。 ・4分音符、8分音符を理解し、8ビートから16ビートまで演奏できるようにする。 ・ドラムに必要なフィルインを知り、ビートの中に組み込んで演奏できるようにする。 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・リズム感を養う。 ・拍や小節の概念を知る。 ・ナチュラルサイクル(4小節、8小節)を身につける。 ・プレイの向上や、楽曲のコピーやカバー、アンサンブルなどで演奏する事ができる。 ・リズムに関する知識や、他活動において有利な情報として得る事ができる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。
【前期】 5～8回目	【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。【ステップ6】キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。【ステップ6】4分と8分のウラを知る。【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。
【前期】 9～12回目	【ステップ8】16分音符を知る。【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。
【前期】 13～16回目	【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。【ステップ13】16分のウラを知る。
【前期】 17～19回目	【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。 ■前期試験：課題曲の演奏により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/ スティックコントロール」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【ステップ1】スティックの握り方、セッティングの仕方、各パーツの名称を知る。【ステップ2】スネアを使ってシングルストロークで叩いてみる。【ステップ3】キックとハイハットを歩くように交互に踏んでみる。【ステップ4】簡単な8ビートに触れてみる。
【後期】 24～27回目	【ステップ5】4分音符と8分音符を理解し、8ビートを進める。【ステップ6】キックのパターンを知り、いくつかのパターンにトライしてみる。【ステップ6】4分と8分のウラを知る。【ステップ7】ウラを使ったバスドラムパターンで8ビートを叩いてみる。
【後期】 28～31回目	【ステップ8】16分音符を知る。【ステップ9】ハイハットを使って16ビートを叩いてみる。【ステップ10】16分音符が入ったフィルインを叩いてみる。
【後期】 32～35回目	【ステップ11】スネアを使って4分、8分、16分をシングルストロークでチェンジアップしてみる。【ステップ12】ステップ11にキックとハイハットを入れて演奏してみる。【ステップ13】16分のウラを知る。
【後期】 36～37回目	【ステップ14】16分ウラのキックを入れて16ビートを演奏してみる。【ステップ15】16ビートでフィルインを入れて演奏してみる。 ■後期試験：課題曲の演奏により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/ スティックコントロール」の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/ 指定ビート / 指定フィルイン/ スティックコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	初心者でも経験者でも、色々なリズムを知る事で音楽をやる上でとても有利になります。たくさんリズムパターンを知ると、演奏知識や音楽制作、そしてリズム感にも役立ちます。楽しく演奏して、音楽に必要なリズムを体験していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	エレキベース		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	・2004年よりアーティスト活動開始。JUON, MAGO, TOC等様々なアーティスト音源のレコーディング参加。 ・Othello, The Baker Brothers, US3等様々なアーティストとの共演。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術・音楽知識等」の指導を行う				
授業概要					
エレキベースを演奏するための基礎や応用を学びます。					
到達目標					
・無駄のないピッキング、フィンガリングのフォームを身につける。 ・理論やベースについての知識を身につける。 ・ベースラインを作成し実際にプレイする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。
【前期】 5～8回目	メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。 5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。
【前期】 9～12回目	ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。
【前期】 13～16回目	ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。
【前期】 17～19回目	前期まとめ。 ■前期試験：課題曲の演奏により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	2フィンガーの基礎。クロマチックスケールを使った運指トレーニング。
【後期】 24～27回目	メジャースケールを使ってフレット上の音名を覚える。 5度、オクターブ、トライアドのポジションを覚える。
【後期】 28～31回目	ダイアトニックスケールの理解、ポジション確認をする。
【後期】 32～35回目	ダイアトニックスケールを用いてコード進行にベースラインをつけてみる。
【後期】 36～37回目	後期まとめ。 ■後期試験：課題曲の演奏により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「ピッキング/フィンガリング/リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ベースの基礎から始め、ベーシストとして生きる力をつけていきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	エレキギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	テレビCM「ビブレ」音源制作 ・LA☆CAPE「暗黙の了解」/作曲 また演奏においてはマイク・スターン、マーカス・ミラー、ポール・ジャクソンなど、世界で活躍するアーティストとも共演。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、編曲の技術と知識等」の指導を行う。				
授業概要					
エレキギターの楽しさを学び、音楽の上でどのような役割を担っているかを理解する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・エレキギターの演奏知識やサウンドの特徴、バンドでの役割を理解する。 ・基本的な技術を習得するための練習法を習得する。 ・チューニングや初期セッティングを自分一人でこなせるようになる。 ・パワーコードやオープンコード、メジャースケールなどを理解し初歩的な演奏ができるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築
【前期】 5～8回目	課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容)
【前期】 9～12回目	コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ
【前期】 13～16回目	課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する(簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする)
【前期】 17～19回目	総合復習 ■前期試験: 課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	エレキギターの基本構造の理解、基礎知識と基礎奏法の習得、演奏フォームの構築
【後期】 24～27回目	課題曲①を用い、関連する知識や技術を習得する(パワーコードとペンタトニックスケールによるシンプルな内容)
【後期】 28～31回目	コード&スケールの基礎、リズムの基礎、機材の仕組みを学ぶ
【後期】 32～35回目	課題曲②を用い、関連する知識や技術を習得する(簡単なギターソロ、リードプレイにチャレンジする)
【後期】 36～37回目	総合復習 ■後期試験: 課題曲の演奏により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「技術力 / リズムキープ / 1曲通しての演奏」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	可能な限りギターに触る時間を増やし、楽しみながらギターの魅力を探りましょう。現代ポピュラーミュージックにおいて非常に重要かつ多彩な役割を担っており、また小さな枠にとらわれない無限大の可能性を秘めた楽器だということがわかるはずですよ。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ソングライティング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	『Make Me』でデビュー。2枚目となるシングル『Precious Story／タカラモノ』をリリースし、発売後、ユニバーサルホームのテレビCMにも起用された。CDリリースは約束の場所へ / UNION・ボクたちのホームラン / 福岡ソフトバンクホークス オリジナル演出集など。ラジオパーソナリティー・LOVE FM(過去担当番組:「So High!」「Music Primary」「Life Time Melody」)も行う。				
授業概要					
理論と楽曲分析を学び、オリジナル曲を制作する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ダイアトニックコードを理解する。 ・ギターもしくはピアノを使ってコードとメロディーを制作できるようになる。 ・自分の好きな曲を狙って作れるように、様々な曲の分析をしていく中で自然に沢山のジャンルの曲を知ることができる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明
【前期】 5～8回目	・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析①
【前期】 9～12回目	・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる
【前期】 13～16回目	・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析②
【前期】 17～19回目	・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得 ■前期試験:楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	・音階の仕組み・コード理論・ダイアトニックコードの説明
【後期】 24～27回目	・耳コピー・和音記号の使い方と考え方・歌詞の分析①
【後期】 28～31回目	・楽曲分析・コードの勉強をし、Aメロ作りやサビだけを作ってみる
【後期】 32～35回目	・1曲の流れ、キャッチコピーなどを狙って曲作り・歌詞の分析②
【後期】 36～37回目	・ノンダイアトニックコードの使い方、使いどころの習得 ■後期試験:楽曲の制作により「クオリティ / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティ / 表現力」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	作曲は音楽を表現するためにも、とても必要なことだと思います。どんなものでもどうやって作られているか知ることとこれまでとは違った見方になると思います。自分の表現方法の一つとして幅、奥行きにしてほしいです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DTM		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要					
昨今の音楽シーンに欠かせなくなってきたDTM,DAW製作を体験し、進路に活かしていく。					
到達目標					
PC(Mac)やDAWソフトLogic Pro Xの基本概念、操作を習得し、課題曲のプログラミングを完成、楽曲を製作する。初級～中級向け。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	シンプルな課題曲を用いて、Logic pro X→PCの基本操作を習得する。
【前期】 5～8回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。
【前期】 9～12回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。
【前期】 13～16回目	自身が選んだ選択曲をカリキュラムに沿って構築していく
【前期】 17～19回目	前期テストの提出のために上記楽曲を完成させ、データの送受信のノウハウを習得する。 ■前期試験：前期課題曲でオペレーション到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	シンプルな課題曲を用いて、Logic pro X→PCの基本操作を習得する。
【後期】 24～27回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。
【後期】 28～31回目	各楽器トラックの特徴、役割を理解しプログラミングする。
【後期】 32～35回目	自身が選んだ選択曲をカリキュラムに沿って構築していく
【後期】 36～37回目	後期テストに向けて完成を目指す。 ■後期試験：後期課題曲でオペレーション到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム / コード / メロディ」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実演系の授業と比べると作業的な面もありますが、PC作業を通して、具体的に覚えてくる音楽の仕組みを感じることができるなど利点も多いです。実際に同じDTMを手段として作られた楽曲がヒットしている例も多く、自身が楽器ができなくても、高度な演奏技術をPCが再現してくれる、最新のサウンドを用いた製作を楽しむ、等、ノウハウを得てあなたの音楽を表現するきっかけをつかみませんか？
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アコースティックギター		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	1996年よりシンガーソングライターとしてアーティスト活動開始。弾き語りライブを行う。「合言葉」「よるこんでいなさい」等、自主制作CD多数リリース。エフエム佐賀「週末ボイス☆ナビ」、福岡コミュニティラジオ天神「はちみつ☆つよじのブブランチタイム」等、ラジオ番組レギュラー出演しており、唐津ケーブルテレビジョン「この人にトキメキ！」等、テレビ番組レギュラー出演も継続中。2007年よりアコースティックギターや歌の指導もしている。				
授業概要					
アコースティックギターで伴奏などが出来る程度に、コードをストロークなどで弾いてみる。またその他奏法を用いた曲も弾いてみる。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・アコースティックギターの演奏に必要な技術を身につける。 ・コードやリズムなどの音楽的知識やセンスを身につける。 ・コード譜を見れば曲が演奏出来るようにする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。
【前期】 5～8回目	8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。
【前期】 9～12回目	コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。 三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。
【前期】 13～16回目	よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。
【前期】 17～19回目	ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。 ■前期試験：課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	基本的な楽器の持ち方・ピックの持ち方・右手のストロークに挑戦。
【後期】 24～27回目	8ビートと16ビートのストロークをしてみる。ストロークに合わせて2コード弾いてみる。4コードの曲に挑戦。
【後期】 28～31回目	コードの覚え方。三和音のオープンコードとバレーコードを覚える。 三和音のオープンコードやバレーコードが出てくる曲を弾いてみる。
【後期】 32～35回目	よく使われる四和音のコードを4つ覚えてみる。四和音のコードを使った曲を弾いてみる。
【後期】 36～37回目	ミュートなどを使ったストロークに挑戦。アコースティックギターのストローク以外の奏法に挑戦。 ■後期試験：課題曲の演奏により「コード知識 / 演奏技術」の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「コード知識 / 演奏技術」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アコースティックギターという楽器を理解して、演奏していくことは音楽をやる楽しさを理解することと同意味だと思います。弾けない時は挫折感を味わったりするでしょうが、これから関わっていくことになる音楽業界での仕事にはそういった挫折感はずきものです。アコースティックギターを通して、その挫折に負けず楽しんで壁を乗り越える忍耐力も身につけていきましょう。また音楽自体を理解する為に音楽的知識も身につけていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌ってみた		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	2011年LA、2012年NYにてヴォーカルLIVEパフォーマンスを行い、国境を越え活動。NYにおいて毎月のイベント出演や野外イベントへの出演等を経験。現在も九州においてヴォーカリストとして幅広く活動中。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的な発声法、歌唱技術等」の指導を行う。				
授業概要					
ライトな歌唱実習です。動画や音源を記録に残し、客観的な目線で確認します。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことの楽しさをまずは知り、動画や音源に残すことで自身を客観的に捉える能力を養う。 ・楽曲への理解を深め、歌唱を通して表現とは何かを考察し、自身を見つめ直す機会を設けることの大切さを知る。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題曲1(まずは歌ってみる、歌うことに慣れてみる)
【前期】 5～8回目	課題曲1(楽曲への理解を深め、表現につなげてみる)
【前期】 9～12回目	課題曲2(自由に表現してみる)
【前期】 13～16回目	課題曲2(聴き手に伝わる表現を追求してみる)
【前期】 17～19回目	課題曲の録画または録音を通して自身のパフォーマンスを客観的に捉えてみる ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	課題曲1(まずは歌ってみる、歌うことに慣れてみる)
【後期】 24～27回目	課題曲1(楽曲への理解を深め、表現につなげてみる)
【後期】 28～31回目	課題曲2(自由に表現してみる)
【後期】 32～35回目	課題曲2(聴き手に伝わる表現を追求してみる)
【後期】 36～37回目	課題曲の録画または録音を通して自身のパフォーマンスを客観的に捉えてみる ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	歌うことに慣れていなくても、まずは少しずつ表現することの楽しさを知り、イメージ通り自由にパフォーマンスできるような自分になっていく様を録画、録音を通して自身を見つめてみましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	メイク		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・ブライダル、アーティスト撮影、企業のCM撮影のヘアメイク等のメイクアップアーティスト。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「基本的なヘアメイクの技術と知識」の指導を行う。				
授業概要					
メイクの基本から学び、イメージに合わせたメイク、撮影やステージメイク、ヘアアレンジ等、トータルで自分の個性や魅力を表現できるようになる為の技術や知識を習得する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアの知識やメイクの必要性を理解する。 ・メイクやヘアの基本的技術や応用力を習得する。 ・色使いやバランス感覚、センスを身に付ける。 ・テーマやファッションに合わせ、自分のイメージするメイクを自分の技術で美しく仕上げられるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	スキンケア知識を身に付け、実践。美しいベースメイクを仕上げる。
【前期】 5～8回目	アイブロー、アイシャドウのグラデーション、チーク、リップ等、ポイントメイクを美しく仕上げる方法を学び、実践。
【前期】 9～12回目	イメージメイク、撮影用メイク、ステージメイクを学び、実践。
【前期】 13～16回目	ヘアアレンジの基本や応用。
【前期】 17～19回目	トータルで自分のイメージするメイクとヘアを仕上げる。 ■前期試験:メイクの実技や筆記試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	スキンケア知識を身に付け、実践。美しいベースメイクを仕上げる。
【後期】 24～27回目	アイブロー、アイシャドウのグラデーション、チーク、リップ等、ポイントメイクを美しく仕上げる方法を学び、実践。
【後期】 28～31回目	イメージメイク、撮影用メイク、ステージメイクを学び、実践。
【後期】 32～35回目	ヘアアレンジの基本や応用。
【後期】 36～37回目	トータルで自分のイメージするメイクとヘアを仕上げる。 ■後期試験:メイクの実技や筆記試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「スキンケア知識 / メイク道具や順序への理解 / 基本的メイク技術力 / 応用力 / 色使いやバランス感覚」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メイクをすることによって、自分を表現できるだけでなく、自分の理想に近づくことができ、内面からも輝くことができます。また、この授業では流行を取り入れながら、様々な技術や感覚を身に付け、自分の好みの音楽、ファッションに合わせたメイクやヘアを自分でできるようになるようレクチャーしていきますので、トータルで自分をプロデュースしていく力がつきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイストレーニング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・Back Number、中村 正人(DREAMS COME TRUE)等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・自身もシンガーソングライターとして九州各地でライブ活動を行う。				
授業概要					
発声のメカニズムへの理解、声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指します。					
到達目標					
・基礎発声練習を通して、健全な肉体と精神を養う。 ・発声のメカニズムへの理解する ・声域の拡張、声量アップ、音色(声色)の獲得を目指す。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	基礎発声練習(チェストボイスの開発)
【前期】 5～8回目	基礎発声練習(チェストボイスの定着)
【前期】 9～12回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの開発)
【前期】 13～16回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの定着)
【前期】 17～19回目	基礎発声練習(ミドルボイスの開発・定着) ■前期試験: 課題曲の歌唱により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	基礎発声練習(チェストボイスの開発)
【後期】 24～27回目	基礎発声練習(チェストボイスの定着)
【後期】 28～31回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの開発)
【後期】 32～35回目	基礎発声練習(弱頭声・ヘッドボイス・ファルセットの定着)
【後期】 36～37回目	基礎発声練習(ミドルボイスの開発・定着) ■後期試験: 課題曲の歌唱により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ボイストレーニングに慣れていなくても、声を出していくうちに自身の身体を通して大事な感覚、足りない力が見えてくるので、それを知り改善して行くことでこれから関わっていくエンターテインメント業界を乗り切る体力を育てていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルトレーニング		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。 歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。 黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。 様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
ヴォーカルに必要な歌唱力や表現力を、総合的に向上させる方法を伝授しトレーニングします。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 自分の歌声の特性や長所、伸ばすべきところを見極めれるようになる。 歌唱力の向上に必要なトレーニングを自身で行えるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【前期】現在の自身の歌唱に伴う課題点を、実際に歌って貰い確認を行う。
【前期】 5～8回目	【前期】歌唱時の発声:喉の使い方やトレーニング方法を学ぶ。
【前期】 9～12回目	【前期】歌唱時の姿勢:身体の使い方や正しい姿勢を習得する。
【前期】 13～16回目	【前期】歌唱時の表現:様々な声色を表現によって使い分ける方法を習得する。
【前期】 17～19回目	【前期】総合確認:実際の歌唱の様子をチェックする。 ■前期試験:楽曲の歌唱により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	【後期】現在の自身の歌唱に伴う課題点を、実際に歌って貰い確認を行う。
【後期】 24～27回目	【後期】歌唱時の発声:喉の使い方やトレーニング方法を学ぶ。
【後期】 28～31回目	【後期】歌唱時の姿勢:身体の使い方や正しい姿勢を習得する。
【後期】 32～35回目	【後期】歌唱時の表現:様々な声色を表現によって使い分ける方法を習得する。
【後期】 36～37回目	【後期】総合確認:実際の歌唱の様子をチェックする。 ■後期試験:楽曲の歌唱により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の到達度を確認する。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今の皆さんの歌力を、ワンランク上に上げたい人の為の授業です。 それぞれの持ち味を活かしつつ、テクニックや表現力を具体的な方法で持ち上げます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	Lyric～作詞～		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> 双子の弟・YUKIとR&Bデュオ「R104」として活動を開始し、2011年よりR&Bコーラスグループ「FREAK」として活動。avexから6枚のフルアルバムをリリースし、ZEPP FUKUOKAでのワンマンライブも行った。 作詞・作曲を自身でこなし、現在はソロでのリリースも精力的に行っている。 				
授業概要					
歌が有る楽曲に必ず存在する「歌詞」。それぞれの頭に広がる物語や世界を歌で表現する為に言語化していく授業です。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 楽曲のコンセプトを決め、それに見合った「歌詞」を作成出来るようになる。 楽曲の曲調やリズム、それぞれに合わせた言葉選びが出来るようになる。 作成した歌詞を実際に楽曲に当てはめて表現する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	前期: 楽曲やリズムごとの「作詞」アプローチや方法論を学ぶ。
【前期】 5～8回目	前期: リファレンスとなる楽曲を選定し、1コーラス分作詞をする為に必要な言葉選びを行う。
【前期】 9～12回目	前期: 楽曲の構成や曲調、リズムや世界観に合わせて言葉を選び「詞」を構成していく。
【前期】 13～16回目	前期: 構成した「詞」を楽曲に合わせて確認し、歌いまわしや母音の組み合わせなどを確認する。
【前期】 17～19回目	前期: 完成した1コーラス分の詞を用いて楽曲と併せ確認し、フィードバックを行う。 ■前期試験: 楽曲の世界観や題材を提示作詞を行い、完成具合の確認。
【後期】 20～23回目	後期: 楽曲やリズムごとの「作詞」アプローチや方法論を学ぶ。
【後期】 24～27回目	後期: リファレンスとなる楽曲を選定し、1コーラス分作詞をする為に必要な言葉選びを行う。
【後期】 28～31回目	後期: 楽曲の構成や曲調、リズムや世界観に合わせて言葉を選び「詞」を構成していく。
【後期】 32～35回目	後期: 構成した「詞」を楽曲に合わせて確認し、歌いまわしや母音の組み合わせなどを確認する。
【後期】 36～37回目	後期: 完成した1コーラス分の詞を用いて楽曲と併せ確認し、フィードバックを行う。 ■後期試験: 楽曲の世界観や題材を提示作詞を行い、完成具合の確認。
評価方法	A(85点以上)/B(70点以上85点未満)/C(55点以上70点未満)/D(55点未満)/E(未受講)の5段階評価。 学期末に実施する試験により「発声メカニズムの理解 / 基礎発声の習得 / 声域チェック」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	「詞」は楽曲を構成する上や表現を行う上でとても重要な役割を担います。 最大限、楽曲を素晴らしいものにする為に「作詞」の大切さと奥深さを学んでいきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PA(選択)		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	ライブホールのサウンドエンジニアとして20年以上従事後、現在はフリーランスとしてライブ、フェスや講演会など年間100本以上のPA業務に携わる。 上記の経験を活かしPAにおける仕込みからオペレーションまで一連の実技指導を行う。				
授業概要					
①アナログの音響卓の操作。 ②ゲインの取り方、イコライジングの考え方及び操作。 ③メインスピーカー、モニタースピーカーの設置及びチューニング。					
科目のねらい					
・音響卓(アナログ、デジタル)の操作、周辺機器への正確な繋ぎこみ等ができる。 ・各スピーカーの仕込み、チューニングができる。ステージマンとしての動き方を理解している。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。 音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方) PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。
【前期】 5～8回目	バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。 ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。 ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。
【前期】 9～12回目	PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。 マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。 バンドセットのライブ実習での実務経験。
【前期】 13～16回目	バンドセットのライブ実習での実務経験。 イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。 様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。
【前期】 17～19回目	前期試験準備。 ■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 20～23回目	8の字巻、マイクスタンドの立て方、スピーカースタンドの立て方。 音響卓のゲインのとり方、イコライジングの仕方。(考え方) PAスピーカーの組み方、音響卓～アンプ～スピーカーのつなぎ方及びGEQチューニング。
【後期】 24～27回目	バンドセットの実習を意識したマイキング、メインスピーカー(モニタースピーカー)のチューニング。 ダンスボーカル系のワイヤレスマイクの設置、メインスピーカー(モニタースピーカー)の設置及びチューニング。 ドラム周りのマイクのチョイス及びマイキング。
【後期】 28～31回目	PRE/POSTの説明、使い分けの考え方。 マルチボックス(16ch,32ch)マルチケーブルを用いてのINPUT/OUTPUTの接続。 バンドセットのライブ実習での実務経験。
【後期】 32～35回目	バンドセットのライブ実習での実務経験。 イベント時のPAセッティングの設置及びチューニング。 様々なPA機会でのスピーカー、マイクのチョイス。
【後期】 36～37回目	後期試験準備。 ■後期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	アナログの音響卓でPAの基礎をしっかりと学習していただきます。
使用教科書	適時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明(選択)		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡のライブハウスにて照明スタッフとして6年間在籍。現在は地元バンドの全国ツアー専属照明などフリーランスとして活躍。上記の経験を活かし照明オペレーションを中心とした実技指導を行う。				
授業概要					
①照明に関する基本用語、舞台構造及び会場設備、光や色の特性などに関する基礎知識を学びます。 ②ユニット、バトンや灯体などの各機材の役割や正しい取り扱い方法及び安全に関する知識を身につけます。					
到達目標					
・照明における専門用語を理解し、演者側の目線でも適切なオーダーを出せるようになる。 ・コンサートやイベントにおいて照明スタッフとしてどのポジションでも対応できる全般的な知識と技術を身に着ける。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ホールや劇場の構造や照明のシステム全般について
【前期】 5～8回目	ケーブルの8の字巻、灯体の吊り込みなど基本的な仕込み作業
【前期】 9～12回目	照明シーンの作り方(打ち込み)編
【前期】 13～16回目	照明オペレーション(サンプルアーティストを起用した実践)
【前期】 17～19回目	■前期試験:前期の授業範囲内より抜粋した筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う
【後期】 20～23回目	ホールや劇場の構造や照明のシステム全般について
【後期】 24～27回目	ケーブルの8の字巻、灯体の吊り込みなど基本的な仕込み作業
【後期】 28～31回目	照明シーンの作り方(打ち込み)編
【後期】 32～35回目	照明オペレーション(サンプルアーティストを起用した実践)
【後期】 36～37回目	■後期試験:後期の授業範囲内より抜粋した筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明は幅広く自由な表現が出来る仕事です。目に見えない音に自分だけの色や動きを付けて楽しみましょう!
使用教科書	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	楽器知識(選択)(前期のみ)		授業形態 / 必選	実習 必修	
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	18回(36単位時間)	年間単位数	2単位(後期履修要)
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	自身のバンドで上京、翌年にはビクターエンタテインメントよりメジャーデビューを果たす。シングル・マキシシングル・アルバム等、計7枚を発表。テレビ・ラジオを始め、各種イベント等多数出演。また、近年では福岡ナンバーショット、中洲ジャズやサツマニアンヘスなどにも舞台監督や現地楽器スタッフとして従事。 上記の経験を活かし楽器知識についての講義を行う。				
授業概要					
一般的なロックバンドの楽器(ギター、ベース、ドラム等)に加え、管楽器を中心とした知識を身につけよう。オーケストラや吹奏楽で活躍する管楽器の特徴や音域、ジャズバンドやロックバンドでのホーンセクションの役割など様々な視点で考察します。トランペットやサクソ等、実際に幾つかの楽器に触れて音の出る仕組みや、マイクセッティングなども学びましょう。					
到達目標					
それぞれの学科・コースにおいて管楽器の知識が活かせること					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	一般的なロックバンドの楽器(ギター、ベース、ドラム等)の知識を身につけましょう。
【前期】 5～8回目	オーケストラや吹奏楽で活躍する管楽器の特徴や音域について学びましょう。また、オーケストラ・吹奏楽・ビッグバンドなど、それぞれの配置なども確認しましょう。
【前期】 9～12回目	ジャズバンドやロックバンドでのホーンセクションの役割など様々な視点で考察しましょう。
【前期】 13～16回目	トランペットやサクソ等、実際に幾つかの楽器に触れて音の出る仕組みや、マイクセッティングなども学びましょう。
【前期】 17～18回目	前期のまとめ ■前期試験:各楽器の構造や各部名称、音の出る仕組み等について、筆記試験で知識を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 「楽器の分類/それぞれの楽器の主なメーカーと種類/楽器の各部名称や仕組み」の3項目の到達度を評価する。
学生へのメッセージ	エンターテインメントの世界において使用される楽器はドラム・ベース・ギターだけではありません。ロックをはじめ、ジャズ・ラテン・ミュージックなど様々なジャンルでいろいろな管楽器が活躍します。より多くの楽器を知る事は、各現場においてきっと役に立つでしょう。
使用教科書	必要に応じてテキスト配布やデータの共有を行います。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	レコーディング(選択)		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	福岡のレコーディングスタジオにおいて長年エンジニアとして在籍の後、現在はフリーランスとしてスタジオレコーディングやライブレコーディングを担当。また、PAオペレート業務、楽器や音響機器のメンテナンスなども行う。 上記の経験を活かしレコーディング全般における実技指導を行う。				
授業概要					
①レコーディングスタジオの機材や楽器についての理解を深める。 ②録音作業を通じてレコーディングの全体像を理解し、作品を完成させる技術を習得する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> レコーディングスタジオ内にある機材や備品の名称、役割を理解し適切に使用出来る。 同じ役割であれば初見の機材でも使用出来る応用力を身に付ける。 実践的な練習をすることで、時間のロスのない円滑なレコーディング作業を進められるようになる。 レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進められる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する
【前期】 5～8回目	マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する
【前期】 9～12回目	バンドレコーディング実習(録音編)
【前期】 13～16回目	Pro Tools実習(バンドレコーディング素材の編集)
【前期】 17～19回目	■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施
【後期】 20～23回目	スタジオの電源の入れ方から、ケーブルの正しい巻き方(8の字巻き)など基本的な作業を理解する
【後期】 24～27回目	マイクやコンソール、スピーカーなどスタジオに常設されている機器の役割を理解する マイクのマイクスタンドへの取り付け方やケーブルの接続方法、CueBoxなど録音前の準備について理解する
【後期】 28～31回目	バンドレコーディング実習(録音編)
【後期】 32～35回目	Pro Tools実習(バンドレコーディング素材の編集)
【後期】 36～37回目	■後期試験:筆記試験及び実技試験の実施
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	基本的なことから実践的なことまで、実際のスタジオワークを想定した内容を中心に学んでいきます。 わからないところはわかるまで解説しますので安心して下さい。
備考	項目毎にテキストプリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	動画編集(選択)		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<p>絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く活動。作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。その他、デザイン系専門学校講師兼任。</p>				
授業概要					
Adobe Premiere Pro・After Effectsを使用し、制作を通して色々な角度から動画について学んでいく。					
到達目標					
Macにおける該当アプリ操作とレイヤーを理解し、動画編集についての造形を深め、作品を作り上げる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・テキスト・エフェクト等。
【前期】 5～8回目	「CM再現」Premiere Proを応用し、フォントや画角などを再現する。
【前期】 9～12回目	「グリーンバック撮影」スマートフォンで撮影したものに背景合成を行う。
【前期】 13～16回目	「モーショングラフィックス」After Effectsの基本操作と基本的な動きを制作。
【前期】 17～19回目	「ストップモーション」フレームレートを理解し、絵コンテから制作。 ■前期試験:前期の授業内容から抜粋し実技試験を実施。内容を理解しているかを問う。
【後期】 20～23回目	「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・テキスト・エフェクト等。
【後期】 24～27回目	「CM再現」Premiere Proを応用し、フォントや画角などを再現する。
【後期】 28～31回目	「グリーンバック撮影」スマートフォンで撮影したものに背景合成を行う。
【後期】 32～35回目	「モーショングラフィックス」After Effectsの基本操作と基本的な動きを制作。
【後期】 36～37回目	「ストップモーション」フレームレートを理解し、絵コンテから制作。 ■後期試験:後期の授業内容から抜粋し実技試験を実施。内容を理解しているかを問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽・芸能業界はYou Tubeなどの影響を大いに受けており今後、動画配信は必須のスキルとなってきます。時代に適応してこれらの技術を身につけましょう。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	MC		授業形態 / 必選	実習	必修
	学則別表上表記	分野別実習 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ■声優芸能科 ■音楽芸能スタッフ科				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	バラエティー番組のMCやラジオパーソナリティー、様々なイベントへの出演等、お笑い芸人として17年間活動。現在は、イベントMCを中心に活動しながらラジオ番組にも出演している。これらのMC経験を活かした講義となっている。				
授業概要					
様々なシーンを想定し、撮影・フィードバックを繰り返し、状況にあったMC技術を学ぶ。MCを行う上での心構えや注意点を学ぶ。					
科目のねらい					
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な条件でのMCを実践することで、MC技術の向上を図る。 ・MCとしての心構えや注意点等、総合的にMCへの理解を深める。 ・自分自身に合ったMCの方法を探る。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	MCの役割・心構え・種類について学ぶ
【前期】 5～8回目	表現、MC基礎トレーニング(発声・滑舌・間)
【前期】 9～12回目	トークMC実践(1対1) ※撮影・フィードバック
【前期】 13～16回目	トークMC実践(多人数) ※撮影・フィードバック
【前期】 17～19回目	バラエティー企画MC実践※撮影・フィードバック ■前期試験:得意なジャンルのMC実技
【後期】 20～23回目	MCの役割・心構え・種類について学ぶ
【後期】 24～27回目	表現、MC基礎トレーニング(発声・滑舌・間)
【後期】 28～31回目	トークMC実践(1対1) ※撮影・フィードバック
【後期】 32～35回目	トークMC実践(多人数) ※撮影・フィードバック
【後期】 36～37回目	バラエティー企画MC実践※撮影・フィードバック ■後期試験:得意なジャンルのMC実技
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「MCへの理解度/MC技術/表現力/対応力/洞察力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	MCは、ただ場を進行させるだけでなく様々な役割があります。 実践しフィードバックを行う事で、MC技術やMCへの理解を深めていきましょう。 そして、自分自身に合った表現方法を一緒に見つけていきましょう。
備考	都度用意した原稿を使用